

「府中市生活困窮者子どもの学習・生活支援事業に関する公募型プロポーザル」の質問と回答について

	質 問	回 答
1	A4サイズに横、縦の指定はありますか。	印刷方法の指定はございません。
2	提案書に枚数制限はありますか。	提案書について、上限枚数の指定はございません。しかし、プレゼンテーションの時間が20分以内ですので、時間内に提案書の全体を説明できるように、ご配慮お願いします。
3	プレゼンテーション時に映す資料は、提出した提案書を想定されていますか。	こちらからの指定はございません。事前にプレゼンテーション形式の動画提出となるため、対面での発表を想定した資料をご準備いただいても差し支えありません。
4	プレゼンテーション時に説明をしている職員の顔を出すなどの条件はありますか。	こちらからの指定はございません。ただし、説明を実施する者は、本業務の統括責任者および担当者とします。

5	令和6、7年度の各曜日（施設）の登録人数を学年ごとにお示ください。	令和6年度の通常クラス参加者数は、月曜日22名、火曜日8名、水曜日12名、木曜日15名、金曜日6名です。集中クラスは、月曜日5名、木曜日3名となっています。 令和7年度の通常クラス参加者数は、月曜日23名、火曜日9名、水曜日9名、木曜日17名、金曜日5名です。集中クラスは、月曜日5名、木曜日4名となっています。
6	学習時間が18時から20時30分でしょうか。職員の教室の準備、片づけはこの時間に含まれますか。	学習教室の実施時間は 午後6時から午後8時30分までです。 施設の利用可能時間は以下のとおりです。 プラッツ:午後6時～午後10時 その他4会場:午後5時30分～午後9時 施設の利用時間内に片付け等の作業を行い、撤収をお願いします。 なお、プラッツ教室は有料ですが、保管場所を借用することが可能です。その他の施設については、現状ご厚意により教材を置く程度のスペースをお借りしていますが、今後も継続できるかは確認がありません。また、容量や形態は施設ごとに異なります。 なお、個人情報に記載された資料については、施設での保管をお願いすることはできません。
7	学習室定着支援の令和5、6、7年度の延べ実施回数をお示ください。	在籍する生徒には、全員年2回以上の面談を実施しています。さらに、学習教室への出席率が低い生徒については、必要に応じて本人との追加面談や、保護者・子ども支援員を交えた面談、家庭訪問を行い、支援体制の強化に努めています。なお、面談の実施回数は提案に影響を与えるものではないため、公表は控えさせていただきます。

8	勉強集中クラスは、通常クラスに参加をしている80名が対象でしょうか。	通常クラスに参加する中学1年生から3年生の学習支援事業利用者から希望者を募って実施します。
9	各会場の利用料は受託者負担でしょうか。その場合の年間の金額をお示ください。	各会場の利用料につきましては、当課で負担しております。

10	前払いを業務完了後の後払いにすることもできますか。	受託事業者の決定後、契約手続きにおいて受託者と当市が協議し、支払い方法を検討することが可能です。 ただし、後払いを選択する場合には、当初予算額を超える請求は認められません。
11	令和5、6年度の受注額と返金額をお示してください。	令和6年度の受注額は 17,176,500円、返金額は 222,721円 です。 令和5年度の受注額は 17,176,500円、返金額は 929,040円 となっています。
12	お見積りを作成するにあたって項目ごとに記載する条件(上限)はありますか。	事業実施に際し、内訳および見積もり金額の適正性を確認できるよう、必要な情報を明確に記載してください。
13	利用登録者の確保は受託事業者の業務でしょうか。	利用登録者の確保に関しましては、受託事業者様にもご協力いただきます。主に、対象者の募集に伴う、面接・選考事務を行っていただくこともございます。2回目教室の募集(7月ごろ)及び翌年度の継続利用意向調査(12月ごろ)の際に、関係書類の配布や回収等のご協力をいただきます。
14	利用者に配布をされているチラシがあればお示してください。	別添の参考資料をご確認ください。

15	<p>令和5、6、7年度の各会場の登録人数、年間の延べ参加数、延べ実施回数を学年ごとにお示ください。</p>	<p>令和5年度 月曜日:登録人数27名、実施回数43回、参加数572名 火曜日:登録人数8名、実施回数49回、参加数269名 水曜日:登録人数20名、実施回数48回、参加数527名 木曜日:登録人数17名、実施回数48回、参加数443名 金曜日:登録人数8名、実施回数39回、参加数162名 集中(月):登録人数9名、実施回数22回、参加数164名 集中(木):登録人数2名、実施回数27回、参加数38名</p> <p>令和6年度 月曜日:登録人数22名、実施回数38回、参加数586名 火曜日:登録人数8名、実施回数48回、参加数319名 水曜日:登録人数12名、実施回数49回、参加数456名 木曜日:登録人数15名、実施回数49回、参加数404名 金曜日:登録人数6名、実施回数42回、参加数192名 集中(月):登録人数5名、実施回数20回、参加数63名 集中(木):登録人数3名、実施回数27回、参加数38名</p> <p>令和7年度・4～10月 月曜日:登録人数23名、実施回数25回、参加数533名 火曜日:登録人数9名、実施回数27回、参加数243名 水曜日:登録人数9名、実施回数31回、参加数271名 木曜日:登録人数17名、実施回数31回、参加数523名 金曜日:登録人数5名、実施回数25回、参加数124名 集中(月):登録人数5名、実施回数7回、参加数35名 集中(木):登録人数4名、実施回数9回、参加数36名</p>
----	--	---

16	<p>令和5、6、7年度の教室型の学習支援員の登録人数と述べ配置人数を会場ごとにお示ください。</p>	<p>仕様書に記載のとおり、学習支援員は通常クラスでは対象者2名に対して1名、勉強集中クラスでは対象者3名に対して1名を配置しています。</p> <p>なお、各年度の利用申込者数は大きく変動するため、支援員の人数にも増減があります。各教室の延べ配置人数は提案に影響を与えるとは考えにくいとため、記載を省略します。</p> <p>支援員の登録人数は以下のとおりです。</p> <p>令和5年度:38名 令和6年度:44名 令和7年度:43名</p>
17	<p>令和5、6、7年度において、本事業の課題と成果をお示ください。</p>	<p>課題 学びの多様化や学校の開校などにより、学習支援を取り巻く環境は大きく変化しており、柔軟な対応が求められています。さらに、生徒のみならず保護者を含めた重層的・包括的な支援体制の構築が必要です。</p> <p>成果 学習教室に参加する生徒の満足度は非常に高い数値を示しています。学習面だけでなく生活面からのサポートも行われており、教室に通う理由付けができています。また、学習以外に課題を抱える生徒に対して、講師間での連携が円滑に行われ、学習面・生活面の双方で改善が見られる事例があります。</p>
18	<p>これまでの出席率を改善する取り組みがあればお示ください。</p>	<p>出席率が低い生徒に対しては、保護者を交えた面談を実施しています。また、必要に応じて子ども支援員を含めた面談や家庭訪問も行い、支援体制の強化に努めています。今後も、学習教室の場だけでなく、生活支援も本事業の重要な要素であることを踏まえ、包括的な支援を行っていただきたいと思います。</p>

19	現受託者が選ばれたよい提案をお示ください。	学習支援だけでなく生活支援の面においても、生活困窮世帯の子どもを対象とする本事業の背景を十分に理解している点を評価しました。
20	プレゼンテーション用の動画について、提出方法及びルールなどをお教えてください。	<p>提案に関する映像の提出要件は、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本業務に係る提案内容および支援体制等について、20分以内にまとめた映像とすること。 ・顔出しの有無は問いませんが、本業務の統括責任者および担当者が事業の説明を行うこと。 ・審査に影響を与えるおそれのある音響（BGM）は使用しないこと。 ・会社名が推測可能な情報を含めないこと。 ・動画の提出方法は、市が別途指定するシステムでデータを提出すること。 <p>なお、システムについては、申し込みのあった事業者に当市からメールでご案内します。メールは19日（金）午後6時ごろに配信予定ですので、そちらから22日（月）午後5時までにアップロードしてください。</p> <p>また、動画提出の要項については、すでに公開しているHPおよび募集要項に追記いたしますので、ご了承ください。</p>

※質問については、表現等を一部修正しておりますので、ご承知おきください。